



研究者 川口 純（阿智村立阿智第一小学校）

共同研究者 藤田育郎（信州大学 准教授）

### テーマ

すべての子が楽しさを感じられる体育学習のあり方  
～生涯にわたって運動に親しむ  
資質・能力の育成を目指して～

## すべての子が運動を楽しむために

すべての子が楽しさを感じ、「運動好き」な子が育つ体育学習を目指します。そのために、①児童主体の授業デザイン ②教材化の工夫 ③体育学習を通した思いやりの育成を中心に据えて研究を進めています。

6月には、事前授業として「ティーボール」の授業公開を行いました。事前授業・研究会を通して、子どもたちの「分かった」「できる！」につながっていく手立てや授業の展開がテーマの実現に向けて大切であると感じました。

みんなで体育学習を楽しむ学び方や、縦（学年）、横（年間計画）の学習のつながりを土台に、より学びが深まる体育学習を目指したいと思います。

夏休みには、下伊那体育研究会、長野県体育研究会の先生方と一緒に体を動かしながら、教材研究に取り組みさせていただきました。実際に動くことで、魅力を最大限に引き出すために「コートのおおきさ」「人数」など教材化の更なる工夫の必要性を感じました。

9月には共同研究者の藤田先生をお招きして、研究会を行いました。藤田先生、本校の先生方と実際にプレーをしながら、作戦・戦術により注目できるよう、特に「コートのおおきさ」「人数」などに注目して、教材を工夫していきました。また、ハドル（作戦選択）の時間を短くして、テンポよくゲームに取り組めるよう、ICT機器を活用した作戦ボードの作成と試用にも取り組みました。

目の前にいる児童34人すべての子が楽しさを感じられる学習となるよう、研究を進めていきたいと思っています。



共同研究者 藤田先生から

「すべての子が楽しさを感じられる」ためには、教材化の工夫に加えて、子どもたちの「学び方」の側面が重要になるでしょう。ボール運動や他領域で学んだ知識・技能を土台として、子どもたちがよりよく課題解決に向かう姿に期待します。

### ～日程～

- |         |             |
|---------|-------------|
| ① 開会式   | 13:35～13:55 |
| ② 授業公開  | 14:10～14:55 |
| ③ 授業研究会 | 15:10～15:50 |
| ④ 講演会   | 15:50～16:40 |
| ⑤ 閉会式   | 16:40～16:45 |